

根島補選
衆院1区

「自民王国」でノーの審判

立憲・亀井氏 自民に大差で勝利

4月28日投票された与野党一騎打ちの衆院島根1区の補欠選挙で、



立憲民主党前衆議院議員の亀井亜紀子氏（58）が、自民党新人の錦織功政氏（57）に公明党推薦に約2万5000票の大差をつけて勝利しました。（写真は、聴衆と握手する亀井氏）

亀井氏は、28日夜の報道各社の共同インタビューで、勝因について「自民党の裏金問題に対する（有権者の）怒りがベースにあった」と指摘。また、物価高など生活の苦しさを「（政治を）変えてください」という声掛けをいっただくのは今回の選挙が初めてでした」と振り返り、「一票一票のみなさんの思いは非常に重たいものだった」と語りました。

山陰中央新報の28日の出口調査によると、自民支持層の26・4%、公明支持層の28・6%が亀井氏に投票。また、

「亀井氏は勝利の条件となる『野党共闘』が機能した」と分析し、野党各党の支持層のそれぞれ90%以上から支持を得ました。勝敗を決めたのが無党派層で72・4%が亀井氏に投票しました。

28日夜の当選報告集会で、社民党県連の熱田幸隆幹事長は「野党共闘で対決していくことが全国に広がれば、本当に自民党を倒すことができる」と、私はこのたたかいで確信しました」と述べました。

開票結果は次の通り。
当 亀井亜紀子58立前
82691票

希望届ける☆春風キャラバン

4月16日から2週間、中国地方を駆け巡り真ん中世代（30〜50代）の皆さんと語り合いつながり合う「希望届ける☆春風キャラバン」に取り組んでいます。

現在折り返しを過ぎたところですが、すでに大変ありある取り組みに。改めてどこでも寄せられるのは、この世代の暮らしぶり、働きぶりの切実さ。「高校の入学準備に30万円かかった」

「物価高が大変。育ち盛りの2人の娘がよく食べるので、安い物が本当につらい」などの声や「勤続12年。昇給しても引かれるものが多く手取りはかわらない。副業しないといけないかと本気で考えている」（30代・作業療法士）

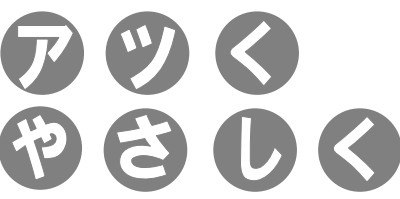
「自分の給料が娘のバイト代より低いことがある」（40代・保育士）

など、特にケアワーカーの皆さんの低賃金問題は本当に深刻です。

同時に、自民党政治への怒りの声も。岡山市内の公園でアンケート対話を行いました。ある大企業の管理職という50代男性と対話になり、「自分は自民党員だが今の自民党はダメ。党費も払いたくないし辞めたい」と語られました。

キャラバンの最大の眼目は「希望を届ける」ということ。我が党の経済再生プランや平和提言を積極的に語っています。岡山市東区のとこいでは「日本が30年間、賃金が上がっていないことと、その理由がよくわかった」「外交ビジョンに感動した」などの感想とともに「こういう

大平よしのぶ 衆議院議員



大平よしのぶ議員の肖像画

大平よしのぶ議員の肖像画

大平よしのぶ議員の肖像画

大平よしのぶ議員の肖像画

大平よしのぶ議員の肖像画

大平よしのぶ議員の肖像画

中央メーデー 市民と野党の共闘で希望ある政治を

村穂副委員長が連帯あいさつ

しまね労連などが主催する「第95回島根県中



央メーデー」が1日、松江市内で開催されました。オンライン参加を含む175人が集い、労働条件の向上と労働者の権利を前進するための団結を誓い合いました。

村上一（まこと）実行委員長はこれまでの要求実現の歴史を振り返り、「引き続き運動を進めよう」と呼びかけ、平和を壊す自民党政治を総選挙で転換することが必要だと訴えました。

大幅増員、夜勤改善を ナーススウェーブ集會に県議ら

島根県医労連は「看護の日」(12日)を前に

10日夕、JR松江駅前夜勤改善などを求める「ナーススウェーブ集會」を開きました。白衣の看護師90人らが市民



森山篤士委員長はあいさつで、人手不足による過密労働で働き続けられない状況にあると述べ、「勤務環境を改善し、安心・安全の医療・介護が提供できるような力を合わせていこう」と呼びかけました。

日本共産党島根県議団の尾村利成、大國陽介の両県議、民主県民クラブ副会長の白石恵子県議、自民党議員連盟会長の五百川純寿県議、同議連・政策審議会長の池田一県議、県健康福祉部の安食治外部長らが参加し、連帯あいさつしました。

尾村県議は「毎年のよ

